

報道関係者各位

2019年12月25日
株式会社吉野家

創業 120 周年記念、
吉野家と小学館『和樂』とのスペシャルプロジェクト
豪華絢爛な牛井用どんぶり『The Kyodon』誕生
12月26日(木)より吉野家公式通販ショップで数量限定販売開始

株式会社吉野家(本社:東京都中央区、以下吉野家)は、2019年12月26日(木)から吉野家公式通販ショップ(<https://e-shop.yoshinoya.com/>)にて史上最高の牛井用のどんぶり『The Kyodon(ザ・京井)』三部作(散花・陽空・時線)を、数量限定で販売いたします。



散花(さんか)



陽空(ようくう)



時線(じせん)

吉野家は創業以来120年に渡り、食事を美味しく・豊かにするためにどんぶりをはじめ食器や食材にこだわりをもち続けています。現在、牛井を提供する際は有田焼のどんぶりを使用しています。この度販売を開始する『The Kyodon』三部作は、小学館「和樂」とのスペシャルプロジェクトによって誕生した豪華絢爛な牛井用どんぶりです。『The Kyodon』の制作は、「和樂」と数々のコラボレーションを展開する京都で活躍中の陶芸家・川尻潤氏が手掛けました。『The Kyodon』三部作はいずれも祝祭感あふれるオレンジや赤で彩色し、その上に本物の金とプラチナで絵付けが施されています。歴史ある牛井用のどんぶりがアートに昇華された『The Kyodon』は個数限定での販売となります。

<陶芸家・川尻潤氏>

京都市生まれ。先祖は九谷焼の前田藩御用窯、実家は江戸時代から続く清水焼の窯元の4代目で、東京藝術大学でデザインを専攻後、陶芸家・美術家として活躍する。学生時代から吉野家のヘビーユーザーであり、大ファンでもある。

■ 『The Kyodon』販売概要

販売日 : 2019年12月26日(木)11時～ ※限定数販売次第、販売終了

販売数量: 限定12個(散花(さんか)、陽空(ようくう)、時線(じせん) 各4個ずつ)

販売価格: 各12万円+税

販売方法: 吉野家公式通販ショップにて販売 <https://e-shop.yoshinoya.com/shop/pages/waraku.aspx>

※『The Kyodon』の詳細は、「和樂」Webサイトでもご覧いただけます。

<https://intojapanwaraku.com/craft/63210/>

■ 『 The Kyodon 』 三部作のご紹介

**散花(さんか)**

吉野家のオリジナル丼の図柄の中で最も印象的な、花の絵を抽出したデザインです。

【川尻氏コメント】

「花の文様は王道ですし、やはり幸福のイメージがあります。創業 120 周年のおめでたい企画なので、桜と菊の花を、金とプラチナで存分に散りばめました。こちらも4列に並んでいる花の数は、すべて 12 個ずつなんですよ。」

**陽空(ようくう)**

吉野家のオリジナル丼をオマージュした作品。名前は空に照らされる輝かしい太陽をイメージしています。

【川尻氏コメント】

「長く人々に愛されている吉野家の丼を、私なりに解釈しました。オリジナル丼の図柄を簡略化し、金で描いているのですが、出てくる花の数は創業 120 周年にちなんで 12 個にしています。高台はプラチナで塗りました。」

**時線(じせん)**

三作品の中で最もモダンなデザインで、線が効いているのと、どこか時代を超えた作風から、「時線」と名付けられました。

【川尻氏コメント】

「吉野家オリジナル丼にある格子柄からデザインを発展させたいです。線だけだと単調になりそうだったので、弧と組み合わせて幾何学を描いてみました。すると、どこかアールデコなムードも出てきて面白いなど。これは見込みの上部に入れた山型の文様が 12 個あります。」

< 本件のお問い合わせ先 >

株式会社吉野家 企画本部 広報担当 寺澤・海老名

TEL 03-5651-8620